



2023年11月

児童発達支援事業所「ころころ」

TEL: 053-424-6262

FAX: 053-424-6263

<https://minnanomori.jp>

Email: korokoro_mori@carrot.ocn.ne.jp

遊びの中で育まれる育ちの根っこ

夏を超えて、朝の雑巾がけが復活すると子どもたちの雑巾を押して進む姿に「あれ？」と感じました。前を向いて進めなかったよね？こんなに速くいけるの？ぶつからなくなっている！と子ども達の成長に驚きました。春には「なりきり雑巾がけ」で車や虫になりきって楽しんでいたのが懐かしく感じられます。今は1番がいい！あの子より早く着きたい！もう一回やりたい！という人への関心や自分がこうなりたいという意欲が出てきているのと、腕や足の運びが強くなっていること、首が持ち上がり前を向けるようになったことがわかります。雑巾がけが子ども達にとって楽しい遊びの一つになって、心と身体の発育に繋がってきています。

園庭に小屋があり、そこでお家ごっこや狼ごっこで遊んでいます。追いかける大人は狼のお面をつけ、逃げる子はヤギのお面をつけて狼から小屋に隠れます。お面をつけることでより役割がわかりやすくなりました。小屋の中のヤギはお友だちが捕まらないようにドアを開けてかくまってあげますが、狼を絶対に中に入れませぬ。ここで狼は小屋に入れないというルールが自然に設定されています。お友だちを狼から守ってあげたい、どうしたら捕まらないか、子ども自身が感じ、考えて遊びが展開し他者を受け入れたり守ったりする社会性が遊びの中で育まれています。

年長のお友だち同士での遊びは、言葉でのやり取りで笑い合ったり、ルールが守られていたり、作品の完成度が高かったりするので年下の子にとっては気になるもので、自分もやってみたくになります。年長のお友だちへの憧れの気持ちが自分もそうしたい、なりたいという意欲になり「自我」を育んでいく一因となっています。

ホールで走るのが大好きなお友だちは、誰も走っていない時は走らないけれど、誰かが走りだすと一緒に走ります。追いかけると相手は逃げていき、自分も追いかけるスリルを楽しんでいるようです。走りながら相手との距離感や思いを同調し一体感が感じられ、嬉しそうに走り回る姿は本当に子どもらしいです。

お友だちと一緒に遊んでいく中で、色々な刺激を受けて自分の事を知っていくことが出来ます。私たち大人も、子どもの思いと先の姿を見据えながら、今の子ども達が楽しめる遊びを一緒に楽しんだり体験していきたいです。一緒に遊ぶことで通じ合うことが楽しいと感じられると「人と繋がれる力」や「人を信じられる力」がついていくのだと思います。

【参考文献】子どもを笑顔にする療育 池添素 著

個別支援計画面談ありがとうございました

した。保護者の皆さんとお話できお子さんの様子や成長と一緒に感じる事ができてとても有意義な時間でした。今後の支援に活かし日々子どもたちと向き合っていきます。

あいあいのお知らせ

11月25日(土) 9:30~11:00

『バザーでお買い物ごっこをしよう』

☆2Fでバザーをします。家庭でバザー用品を2品ほどご協力お願いします。詳しくはポスターを見て下さい。